

新たな北海道総合開発計画を推進するための 取組例について

平成28年1月20日
国土交通省北海道局

産学官民金連携によるプラットフォームの形成

- 新たな北海道総合開発計画の推進に当たっては、行政のみならず、地域経済界、金融機関、大学等の研究機関、NPO、地域住民など、多様な主体が連携・協働し、取組を持続的に進めていくことが重要。
- そのため、様々なテーマに応じて、取組を持続的にマネジメントする組織体「プラットフォーム」の形成を推進し、地域の課題解決や地域発のイノベーションにつなげていくこととしている。

多様な主体の連携・協働やプラットフォームの先行事例

シーニックバイウェイ
北海道

「わが村は美しくー
北海道」運動

北海道
マリンビジョン21

北海道国際輸送
プラットホーム(HOP)

等

新たな計画において想定している新たなプラットフォームの例



プラットフォームによる取組の展開①(北海道価値創造パートナーシップ活動)

- 新たな北海道総合開発計画の策定に向けて、地域の課題解決・活性化に携わる方々から広くご意見をお伺いし、計画の立案に活かすとともに、地域づくりの関係者相互の協力関係の促進を図ることを目的として、平成27年から北海道価値創造パートナーシップ活動を開始。
- 新たな計画の推進に当たっても、北海道で活躍する地域づくり人材を基盤としつつ、多様な人材の活発な交流・コミュニケーションを通じて地域の「価値創造力」を強化するため、地域づくり人材の広域的・横断的な支援・協働を図る北海道価値創造パートナーシップ活動を展開することとしている。

これまでの北海道価値創造パートナーシップ活動の実施状況

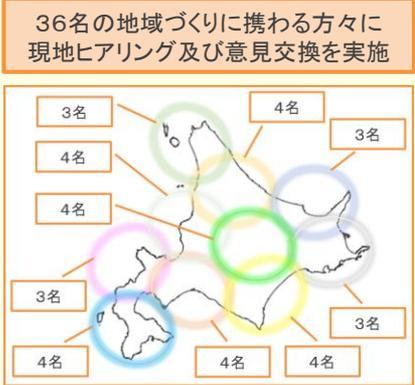
- ①北海道価値創造パートナーシップ会議の開催
 - ・春期5会場(札幌、苫小牧、岩見沢、網走、稚内)
 - ・秋期4会場(函館、釧路、旭川、帯広)
- ②現地ヒアリング及び意見交換の実施
 - ・全道各地域において実施



太田大臣(当時)が出席された札幌会場の様子

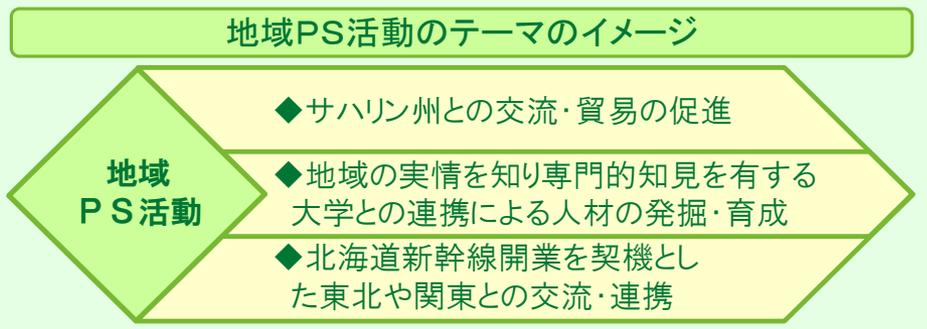


秋期に開催された函館会場の様子



今後の北海道価値創造パートナーシップ活動の展開

- ①全道各地域で地域パートナーシップ活動(地域PS活動)の推進
 - ・各地域の課題や個性に応じたテーマに沿ったプラットフォームの組織化・運営等を推進
 - ・地域資源の発掘等に係る勉強会や地域ビジネスに繋げていくためのセミナー等を開催 等



※計画部会報告の本文を参考に記載したイメージであり、変更がありうる。

- ②北海道価値創造パートナーシップ会議の開催
 - ・「世界の北海道」をキャッチフレーズに、北海道全体の価値創造力を高めることを目的に、地域づくりの担い手の育成・確保や人材交流の場として、北海道価値創造パートナーシップ会議を開催

生産空間の維持－重層的な機能分担と交通ネットワーク強化

北海道型地域構造 (基礎圏域)

▼生産空間

農林水産業、観光等を担う地域



▼地方部の市街地

一定程度の生活サービス機能を提供する地域



▼圏域中心都市

医療、教育・文化、商業等の都市機能・生活機能を提供



3層の機能分担とネットワークで
住み続けられる環境を維持・創出

生産空間における 施策の方向性

1. 生産性の向上
2. 散居形態をなす生産空間における生活機能の維持
3. 広域分散型地域構造を支える交通ネットワーク維持
4. 暮らしたい・訪れたいと感じる地域の魅力向上

取組例

医療

地域医療を支える救急搬送支援



道路管理ステーションでのランデブー事例



冬期間は
7割減少

全 2,387箇所
冬期利用可能 654箇所
冬期利用困難 1,733箇所
※北海道開発局調べ(H27.4現在)
【ドクターヘリのランデブーポイント】

- ・降雪・積雪等により冬期間は道路の走行速度が低下してしまうため、緊急搬送等に時間を要する状況。
- ・これらを改善し、地方部における医師接触・病院収容までの所要時間を短縮させるため、除雪等の冬期維持管理が行き届いた道路施設等を活用してドクターヘリのランデブーポイントを確保する等、救急搬送支援を実施。

医療関係者等と道路管理者の協議会



救急出動件数が年々増加傾向にあるなか、有識者・医療関係者・関係行政機関及び道路管理者で構成する地方部・都市部の救急搬送時間の短縮や効率化に繋がる支援方策や、大規模災害時における救急搬送等のあり方等を検討するための協議会を実施。

人流・物流

市街地の機能集約による拠点づくり

生活機能・都市機能の集約・連携による地域の拠点づくり

「はなやか(葉葉野花)小清水」(北海道小清水町)



- ・地域間を結ぶ交通の結節点
- ・地域内外との交流拠点
- ・地域活動の充実



駅とバス停



観光案内所



地域特産物販売

強靱化(冬期への対応)

暴風雪時のわかりやすい情報提供

暴風雪時の国道・道道の規制情報や視程障害予測情報等のWebページによる情報発信、また国道通行止め情報等をメール配信するなど、適切でわかりやすい情報提供を実施。

【メール配信】



【北海道地区 道路情報】

【現況視界情報(PC版)】

※ 本資料に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。